

2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月13日

上場会社名 JMACS株式会社 上場取引所 東
コード番号 5817 URL https://www.jmacs-j.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村剛嗣
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 植村瑠美 TEL 0795-46-1697
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績 (2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	2,409	△4.7	48	△64.6	71	△55.5	50	△64.7
2023年2月期第2四半期	2,529	12.2	136	23.5	160	16.5	143	36.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	10.83	-
2023年2月期第2四半期	30.71	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	8,259	4,616	55.9
2023年2月期	8,056	4,603	57.1

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 4,616百万円 2023年2月期 4,603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2024年2月期	-	0.00	-	-	-
2024年2月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	8.7	170	△0.4	160	△31.8	140	△32.2	29.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料8ページ、「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	4,691,555株	2023年2月期	4,691,555株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	14,871株	2023年2月期	5,571株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	4,685,434株	2023年2月期2Q	4,685,984株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ(業績予想などの将来予想情報に関する説明)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の減速が製造業の収益を下押ししましたが、ウィズコロナへの移行が本格化し、サービス消費やインバウンド需要の回復を受け景気は緩やかに回復しました。

このような状況のもと、当社といたしましては、経営方針として“基本の徹底”を掲げ、お客様のニーズにあった製品開発・販売に注力し、販路拡大・増収増益に努めてまいりました。

この結果、当社の経営成績につきましては、当第2四半期累計期間の売上高は2,409,572千円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益48,111千円（前年同四半期比64.6%減）、経常利益71,503千円（前年同四半期比55.5%減）、四半期純利益50,731千円（前年同四半期比64.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<電線事業>

電線事業につきましては、建設・半導体案件による受注を見込んでいましたが、案件の動きが鈍く商社も在庫過多であることから、苦戦を強いられる状況となりました。一方で工場プラント案件には微増の動きがあり、納期対応にて売上を獲得しました結果、売上高2,357,206千円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益99,520千円（前年同四半期比50.1%減）となりました。

<トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、nvEye's®（遠隔業務支援システム）等引合は減少しており、売上高52,365千円（前年同四半期比69.0%減）となり、セグメント損失51,409千円（前年同四半期はセグメント損失63,455千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末の総資産残高は8,259,705千円となり、前事業年度末に比べ202,910千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加114,716千円、売上債権の減少99,026千円、仕掛品の増加106,342千円、原材料及び貯蔵品の減少183,927千円、有形固定資産の増加251,793千円等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末の負債残高は3,643,577千円となり、前事業年度末に比べ190,376千円増加いたしました。その主な要因は仕入債務の減少217,701千円、短期借入金が増加493,700千円、長期借入金の減少42,574千円等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末の純資産残高は4,616,128千円となり、前事業年度末に比べ12,533千円増加いたしました。その主な要因は四半期純利益の計上50,731千円、剰余金の配当46,859千円、その他有価証券評価差額金の増加8,661千円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、641,306千円となり、前事業年度末に比べ114,716千円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は10,029千円(前年同四半期は21,465千円の使用)となりました。これは主として仕入債務の減少額217,701千円、未払消費税等の減少額71,990千円、法人税等の支払額4,993千円等の減少要因が、税引前四半期純利益71,503千円、減価償却費61,357千円、売上債権の減少額97,991千円、棚卸資産の減少額57,701千円等の増加要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は284,490千円(前年同四半期は60,099千円の獲得)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出313,778千円等による減少要因が、投資不動産の賃貸による収入33,708千円等による増加要因を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は409,236千円(前年同四半期は96,157千円の使用)となりました。これは主として短期借入金の純増加額493,700千円による増加要因が、長期借入金の返済による支出42,574千円、配当金の支払額41,646千円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、2023年4月14日から発表した内容から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	526,590	641,306
受取手形、売掛金及び契約資産	1,589,421	1,525,599
電子記録債権	455,131	419,926
商品及び製品	447,140	467,024
仕掛品	266,051	372,393
原材料及び貯蔵品	588,577	404,649
その他	45,174	29,941
貸倒引当金	△2,484	△1,017
流動資産合計	3,915,603	3,859,823
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,505,431	1,467,513
土地	414,770	414,770
その他(純額)	428,509	718,220
有形固定資産合計	2,348,711	2,600,504
無形固定資産	13,673	13,561
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	1,576,408	1,575,575
その他	202,398	211,274
貸倒引当金	—	△1,035
投資その他の資産合計	1,778,807	1,785,815
固定資産合計	4,141,191	4,399,881
資産合計	8,056,795	8,259,705

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	270,551	227,302
電子記録債務	688,986	514,533
短期借入金	700,000	1,193,700
1年内返済予定の長期借入金	85,148	85,148
賞与引当金	22,330	23,253
資産除去債務	—	9,941
その他	175,712	136,528
流動負債合計	1,942,728	2,190,406
固定負債		
長期借入金	1,242,833	1,200,259
退職給付引当金	79,472	75,114
役員退職慰労引当金	146,816	146,816
資産除去債務	10,368	—
その他	30,981	30,981
固定負債合計	1,510,471	1,453,170
負債合計	3,453,200	3,643,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	644,838	644,838
利益剰余金	3,240,475	3,244,347
自己株式	△2,659	△2,659
株主資本合計	4,530,439	4,534,311
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,155	81,817
評価・換算差額等合計	73,155	81,817
純資産合計	4,603,594	4,616,128
負債純資産合計	8,056,795	8,259,705

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	2,529,574	2,409,572
売上原価	1,917,342	1,837,581
売上総利益	612,232	571,990
販売費及び一般管理費	476,212	523,878
営業利益	136,019	48,111
営業外収益		
受取賃貸料	33,708	33,708
その他	9,064	4,818
営業外収益合計	42,773	38,527
営業外費用		
支払利息	11,006	8,305
賃貸収入原価	4,732	4,631
その他	2,458	2,198
営業外費用合計	18,198	15,135
経常利益	160,595	71,503
税引前四半期純利益	160,595	71,503
法人税、住民税及び事業税	27,162	13,137
法人税等調整額	△10,461	7,633
法人税等合計	16,701	20,771
四半期純利益	143,893	50,731

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	160,595	71,503
減価償却費	83,414	61,357
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15	△431
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,062	922
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,726	△4,358
受取利息及び受取配当金	△2,073	△2,659
受取賃貸料	△33,708	△33,708
支払利息	11,006	8,305
売上債権の増減額(△は増加)	△15,547	97,991
棚卸資産の増減額(△は増加)	△40,928	57,701
仕入債務の増減額(△は減少)	△175,062	△217,701
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,296	△71,990
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△12,002	12,871
その他の流動負債の増減額(△は減少)	26,337	24,868
その他	2,299	△6,284
小計	27,432	△1,611
利息及び配当金の受取額	2,073	2,659
利息の支払額	△10,706	△8,821
法人税等の支払額	△40,264	△4,993
法人税等の還付額	—	2,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,465	△10,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,305	△313,778
有形固定資産の売却による収入	2,636	4,174
無形固定資産の取得による支出	△1,643	△1,572
出資金の回収による収入	47,298	—
投資不動産の賃貸による収入	33,708	33,708
その他	△3,594	△7,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,099	△284,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	493,700
長期借入金の返済による支出	△55,074	△42,574
配当金の支払額	△40,597	△41,646
その他	△486	△243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,157	409,236
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△57,523	114,716
現金及び現金同等物の期首残高	526,790	526,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	469,266	641,306

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2022年3月1日至2022年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	電線事業	トータルソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,360,880	168,694	2,529,574	—	2,529,574
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,360,880	168,694	2,529,574	—	2,529,574
セグメント利益又は損失(△)	199,475	△63,455	136,019	—	136,019

(注)セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自2023年3月1日至2023年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	電線事業	トータルソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,357,206	52,365	2,409,572	—	2,409,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,357,206	52,365	2,409,572	—	2,409,572
セグメント利益又は損失(△)	99,520	△51,409	48,111	—	48,111

(注)セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。